



あやべ観光ガイドと行く街歩き ～月見町編～



かつて、花街としてにぎわった月見町。今も町屋が残り、情緒ある街並みが広がる同町について、あやべ観光ガイドの会の石原信明さんに聞きました。



「当時は芸妓が50人もいたそうです」と資料を指す石原さん。

月見町は今から100年以前、大正2年に開町しました。当時、綾部では蚕糸業とその関連産業が大きく発展。大本の広がりなどとも相まって、全国から人が訪れる街でした。お茶屋や旅館、置屋が立ち並ぶ月見町は、当時の綾

支えた花街 発展を



こちば見どころも!!

月見町公会堂は、かつて検番(見番)として利用されていたとか。2階にはダンスホールもあります。事前に申し込めば利用可能。問い合わせは、同町の林さん ☎(42)0546へ。

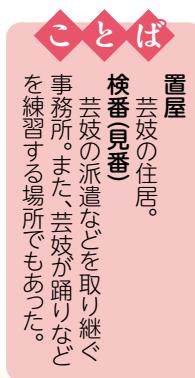


部の発展を支え、商談や宴会等の場として利用されました。通りは毎晩のように、まつりのような人出でにぎわったそうです。

歴史体感! ハイキング開催



11月12日には、月見町を含む市街地を巡るハイキングツアーアーを実施（「海の京都」綾部地区協議会主催）。ガイドが歴史をひもときながら、観光スポットを案内します。まちなかに息づく歴史を感じながら、散策してみてはいかがでしょうか（詳細は本紙10月号でお知らせします）。



「住んでよかったです 住みたくなる…綾部発 情報すくらんぶる」は、綾部市の施策・制度・イベント・名所・活躍する個人や団体…など、綾部のホットな市政情報や旬の話題を幅広くお届けします。